

【参加自由・取材可】原爆の子の像前で被爆樹木を使った参加型アート制作

[PANORAMA採択] 被爆樹木・県産材を使い「イマココからの平和」を再構築する | 2/7(土)

— Re:Arch Hiroshima —

2026年2月7日(土)広島平和記念公園・原爆の子の像周辺にて、広島県主催のアクセラレーションプログラム「PANORAMA」第9期に採択されたアートプロジェクト「Re:Arch Hiroshima(リアーチ・ヒロシマ)」が参加型インсталレーションアートプロジェクトを実施します。

本企画は、被爆樹木(広島市より譲渡)・リサイクル材・広島県産材ヒノキを用いたアートブロックで、原爆慰靈碑のアーチをモチーフに、「イマココからの平和」を来場者とともに再構築していく参加型のアートプロジェクトです。

完成された作品を展示するのではなく、公園を訪れた県民や観光客、一人ひとりが制作に関わりながら、その場で少しずつ“平和のアーチ”を立ち上げていきます。

■企画の特徴

・被爆樹木と県産材を素材に使用

広島の記憶と現在をつなぐ素材を用い、平和を「触れられる体験」として提示します。

・参加型・共創型インсталレーション

鑑賞するだけでなく、誰もが制作に関われる開かれた表現の場です。

・「学ぶ平和」から「つくる平和」へ

過去を知るだけでなく、今の自分自身の感覚から平和を考える体験を生み出します。

■開催概要

・日時: 2026年2月7日(土) 10:00~16:00

・会場: 広島平和記念公園 原爆の子の像周辺

・参加費: 無料(申込不要／出入り自由)

・主催: Art Aid for All 代表 長谷川忠広(藝術家)

・取材対応: 取材大歓迎(撮影・顔出し可)

・雨天時: 中止※当日の開催可否は、

Instagram(@toshokukan2.0)にて告知



■代表コメント

「これまで平和は、語り継ぐものとして扱われてきました。しかし、これからの平和は“イマココから創り出すもの”だと考えています。被爆樹木に手を触れ、誰かと一緒にアーチをつくる行為そのものが、未来の平和への問いになることを願っています。」

■お問い合わせ

Art Aid for All

代表:長谷川忠広(はせ)

Tel:090-6408-6657

E-mail:nasake5around@gmail.com

Instagram:@toshokukan2.0

